

① 炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー
 ① 給湯湯沸設備・乾燥設備・サウナ設備
 ヒートポンプ冷暖房機
 火花を生ずる設備・放電加工機
 設置届出書

③ 様 届出者 住所 ④ (電話) 氏名		② 年 月 日		
防対象火物	所在地	⑤ (電話)		
	名称	⑥	主要用途	⑦
設場置所	用途	⑧	床面積	⑨ m ²
	構造	⑩	階層	⑪
届出設備	設備の種類	⑬		
	着工(予定)年月日	⑭	竣工(予定)年月日	⑮
	設備概要の要	⑯		
	使用する燃料・熱源・加工液	種	類	
		⑰	⑱	
安全装置	⑲			
取扱責任者氏名		⑳		
工事施工者	住所	㉑ (電話)		
	氏名	㉒		
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄		

- 備考
- この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること
 - 法人にあつては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
 - 階層欄には、屋外に設置する設備にあつては「屋外」と記入すること。
 - 設備の種類欄には、鉄鋼溶解炉、暖房用熱風炉、業務用厨房設備等と記入すること。
 - 設備の概要欄に書き込めない事項は、別紙に記載して添付すること。
 - ※印の欄は、記入しないこと。
 - 当該設備の設計図書を添付すること。

記入要領

番号	項目	記入事項
①	届出種別	該当する設備を○で囲みます。 (例) 厨房設備
②	年月日	届出書を提出する年月日を記入します。
③	宛先	所轄の消防本部の消防長となります。
④	届出者	設備を設置しようとする者の住所、氏名、電話番号を記入します。 法人にあっては法人の所在地、名称、電話番号及び代表者の職、氏名を記入します。
⑤	所在地	防火対象物の所在地を記入します。
⑥	名称	防火対象物の名称を記入します。
⑦	主要用途	当該防火対象物又は建築物その他の工作物の使用用途を、消防法施行令別表第1に掲げる用途等により「工場」、「事務所」、「複合用途」等の要領で記入します。
⑧	用途	設置する場所の用途を具体的に記入します。
⑨	床面積	設備を設置する場所の床面積を記入します。
⑩	構造	設置場所の構造を記入します。 (例) RC、S、SRC、鉄筋コンクリート、鉄骨、鉄骨鉄筋コンクリート
⑪	階層	設置する階層を記入します。 なお、屋外に設置する場合は、「屋外」と記入します。
⑫	消防用設備等又は特殊消防用設備	当設置する消防用設備等の種類を記入します。 (例) 消火器
⑬	設備の種類	設備の種類を記入します。 配置図を添付してください。 (例) 鉄鋼溶解炉、暖房用熱風炉等
⑭	着工年月日	設備を設置しようとする年月日を記入します。
⑮	竣工年月日	設置が完了する年月日を記入します。
⑯	設備の概要	設置する設備の製造会社名・型式を記入します。 設備の仕様書等を添付してください。
⑰	使用する燃料・熱源・加工液	使用する熱料・熱源及び加工液の種類を記入します。
⑱	使用量	使用する熱料・熱源及び加工液の使用量を記入します。
⑲	安全装置	安全装置の種類を記入します。
⑳	取扱責任者	取扱責任者の職氏名を記入します。
㉑	工事施工者住所	工事を施工する者の住所及び電話番号を記入します。
㉒	工事施工者氏名	工事を施工する者の氏名（法人の場合は会社名及び職氏名）を記入します。
その他注意事項		設置工事開始の3日前までに提出すること。